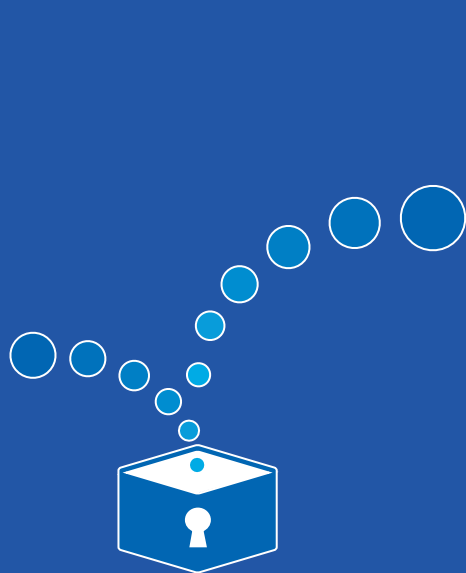


一般社団法人

日本知財学会

Intellectual Property Association of Japan



一般社団法人 日本知財学会 事務局
(郵便の送付先、連絡先)

〒113-0033
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学政策ビジョン研究センター 渡部研究室内
TEL : 080-2338-3795
FAX : 03-4243-3895
E-mail : office@ipaj.org
URL : <http://www.ipaj.org>

日本知財学会 検索



日本知財学会とは

日本知財学会は、知財を生み出す研究者および知財を利用する企業の経営者が中心になり、ニーズ指向の知財学を振興するため2002年10月に設立されました。

知財に関心を持つ多様なバックグラウンドを持つ方が参加し、科学技術やコンテンツにかかる創造、保護、活用について、法律、経済、経営、国際関係論など学際領域を中心に研究活動を振興しています。

韓国知識財産学会および中国知識産権研究会と学術協力協定を締結し、国際活動も積極的に行っています。

会員の特典

- ◆知財に関係する政府、企業、研究者等の人材との交流による、多様かつ強力なネットワークの構築
- ◆日本知財学会誌の購読(年3回発行)
- ◆日本知財学会誌への論文投稿(査読を経て掲載。掲載料無料)
- ◆学術研究発表会への参加(発表内容は予稿集に掲載)
- ◆各種イベントの電子メールによる通知
- ◆各種イベントに会員割引料金で参加
- ◆「エグゼクティブ知的財産時事懇談会」への参加(法人会員のみ)

日本知財学会の主な活動

◆ 学術研究発表会

- 知財に関する研究成果の発表と、最新トピックスの発信の場として、年次学術研究発表会を毎年開催。



- 2日間にわたりシンポジウム、テーマセッション、一般発表等を実施。

◆ シンポジウム

- その時々的重要なテーマに基いて国内外より講師を招き、講演・パネル討論によるシンポジウムを年に数回実施。
- 学術協定を締結している韓国産業財産権法学会・中国知識産権研究会と協力し、連携国際シンポジウムを毎年開催。

◆ 表彰

- 優秀論文賞：知的財産に関する学術研究振興を目的に、特に優れた投稿論文を表彰。
- 産業功労賞：知的財産の観点で顕著な業績があった法人会員を表彰。
- 学生優秀発表賞：若手人材の育成を目的に、学術研究発表会において優れた研究発表を行った学生を表彰。

◆ エグゼクティブ知的財産時事懇談会

- 法人会員を対象に、企業の知財戦略や各国の知財政策等のトピックスを、本学会の渡部俊也会長（東京大学政策ビジョン研究センター教授）がホストとなり、ゲストを交えて紹介。
- 法人会員に向けた有意義なコンテンツを、今後一層充実予定。

◆ 学会誌・刊行物の発行

- 年3回発行の日本知財学会誌 (Journal of Intellectual Property Association of Japan) およびWEBジャーナルに、企画論文、査読付論文を掲載。
- 投稿論文(日/英)を随時募集。
- 学術研究発表会の一般発表予稿、セッション概要等を掲載した予稿集を発行。



◆ 政策提言等

- 我が国の知的財産政策に対し積極的に提言。政策提言は、委員会 / 分科会における議論に基づき作成し、理事会承認を経て公開。
- その他、2004年より最高裁判所専門委員(知的財産訴訟)の委員推薦を継続。

◆ 分科会

- 分科会(登録制)においては、専門分野毎に最先端の研究を行い、参加者同士の知財情報の交換、学術交流を行う研究会を開催。
 - ① 知財人財育成研究分科会
 - ② 大学発イノベーション分科会
 - ③ 知財会計・経営分科会
 - ④ 知財教育分科会
 - ⑤ ビジネスと知的資産・知財法研究分科会
 - ⑥ 知財学ゼミナール
 - ⑦ コンテンツ・マネジメント分科会
 - ⑧ デザイン・ブランド・マーケティング分科会
 - ⑨ アセアン・インド分科会
 - ⑩ 知財制度・判例分科会

(2017年4月1日現在)



◆ 定例研究会

- 全会員を対象に、各分科会が持ち回りで研究会を原則毎月開催。会員同士・分科会同士の知財情報の交換、学術交流の場として活用。